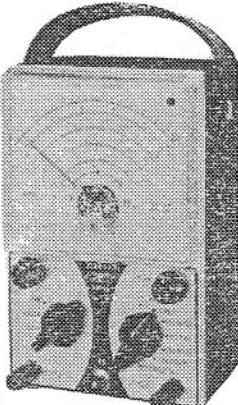


国内新製品紹介

トリオの新製品 6種

●P型バルボロ “SV-50”

同社のサービス・シリーズの一つとして発売されたもので、きわめて安定な直流増幅器に、抵抗計用として乾電池と標準抵抗を、直流電圧計用として電圧分割回路を、交流電圧計用として検波回路と分圧回路を各々組み合わせることで万能の用途もっている。小型・軽量であるばかりでなく機械的にも丈夫に作られている。また入力インピーダンスが非常に高い（全レンジ 11 M Ω , 2 pF 以下）ので被測定回路に全く影響を与えない。本機の主な規格は下記のとおり。



抵抗計としての測定範囲は 0.2 Ω ~ 1,000 M Ω (7 レンジ), 中央目盛は 10 Ω ~ 10 M Ω , 精度 $\pm 3\%$ 以内。直流電圧計としては 0 ~ 1,500 V (7 レンジ) 交流電圧計としては測定範囲は実効値 0 ~ 1,500 V (r.m.s), 尖頭値 0 ~ 4,000 V p-p, 出力計 -20 ~ +65 dB (600 Ω 1 mW を 0 dB として) である。周波数範囲は 30 c/s ~ 500 kc ($\pm 3\%$ 以内), 20 c/s ~ 5 Mc ($\pm 10\%$ 以内), 外形寸法は高さ 190 \times 幅 130 \times 奥行 90 (mm), 重量は 2 kg である。現金正価は $\yen 17,500$ 。

●低周波発振器 “SA-51”

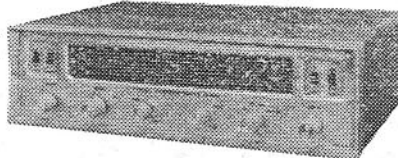
発振周波数は 20 ~ 200 c/s, 200 c/s ~ 2 kc, 2 ~ 20 kc, 20 ~ 200 kc の 4 つのレンジよりなり、発振にはウィーン・ブリッジ方式を採用し、波形歪も少なく、安定な出力特性を得ている。周波数精度は $\pm (5\% + 2 \text{ c/s})$ 。出力波形はツマミひとつで正弦波、矩形波が切替えられる。そして一般の低周波測定だけでなく、位相または時間測定の信号源として、また矩形波特性の測定などにも利用できる。ダイヤルは各バンド単一目盛を使用しているので読みやすい。正弦波の出



力電圧は 6 V r.m.s 以上、歪率 3% 以下、矩形波は 6 V p-p, 電源電圧変動 (100 V $\pm 10\%$) に対する安定度は出力電圧 ± 1 dB 以下、周波数 $\pm 1\%$ 以内、外形寸法は横 265 \times 高さ 194 \times 奥行 163 (mm) で、重量は約 4 kg である。現金正価は $\yen 15,000$ 。

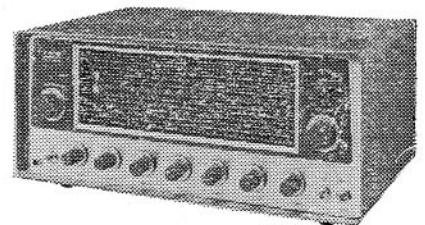
●ステレオ・トライアンプ “W-14”

家庭用のステレオ・アンプで、チューナー部は FM, SW, MW の 3 バンドである。また中波 (MW) のステレオを受けるための端子があり手持ちのラジオをつないで簡単に受信することができる。使用真空管は 6AQ5 $\times 2$, 6BA6 $\times 5$, 6AL5, 6BE6, 6BQ5 $\times 2$, 6E5, 6SM $\times 2$ となっている。出力は最大 7 W $\times 2$, 無歪 5 W $\times 2$ となっている。また、高音・低音が独立したフィリップス方式の音質調整がついている。FM 部には AFC 回路があるため受信は安定であり、マルチプレックス用の端子もついている。なおテープレコーダーと併用するための録音端子もでている。トーン・コントロールは低音が 0 ~ +10 dB (100 c/s), 高音が 0 ~ -18 dB (10 kc) となっている。周波数特性は 20 ~ 50,000 c/s ± 1 dB 以内 (出力 500 mW において) である。入力端子は PU, AUX, TAPE, REC, MPX, OUT。外形寸法は横 420 \times 高さ 130 \times 奥行 285 (mm) で、重量は 10 kg。現金正価は $\yen 25,300$ 。



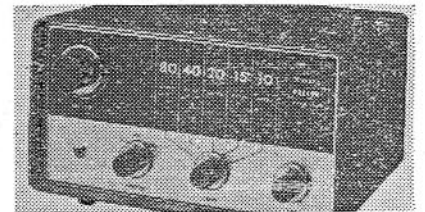
●通信型受信機 “JR-60”

受信周波数は 540 ~ 1,605 kc, 1.6 ~ 4.8 Mc, 4.8 ~ 14.5 Mc, 10.5 ~ 30 Mc, 48 ~ 54 Mc でハム・バンドは目盛直読でバンド・スプレッドができるようになっている。使用真空管は 6AQ8 $\times 4$, 6BL8, 6BA6 $\times 3$, 6BE6 $\times 2$, 6AL5, 6AQ5, 6CA4, 0A2/VR, 150MT, IN-60 で高周波 1 段, IF 2 段増幅となっている。大型横行ダイヤルとフライホイールの採用で選局は非常にスムーズである。同社独自の新しいツボ型コアを採用した小型 IFT により、すばらしい選択度 (Q マルチ OFF の状態で ± 10 kc 離調で 65 dB 以上, Q マルチ動作時には -74 dB から -90 dB まで可変) を得ている。また、本格的プロダクト検波回路の採用, BFO の付属により SSB および CW が安定に受信できる。ゲートッド・ビーム検波による FM 受信も可能である。付属回路として ANL, AVC, MVC (手動音量調節) がついている。外形寸法は横 430 \times 高さ 195 \times 奥行 255 (mm) で、重量は 10.5 kg である。現金正価は $\yen 29,900$ 。



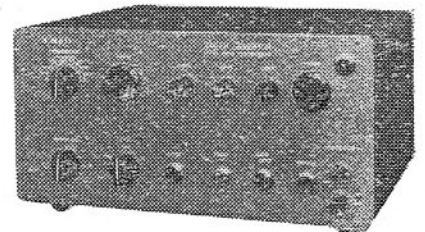
●プリコン “SM-5”

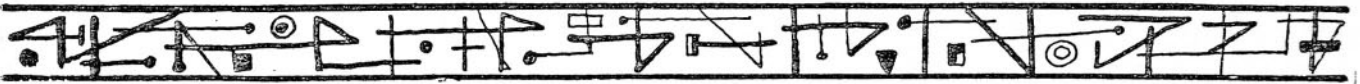
切換スイッチにより、プリセクターとしてもクリスタル・コンバーターとしても働らくところからこの名ができたものである。ハム・バンド専用であるからバンド切換えはワンタッチ・コントロールである。プリセクターは 3.5 ~ 28 Mc をカバーし、高周波 2 段の役目をするので受信機の感度とイメージ・レシオは飛躍的に向上する。クリスタル・コンバーターとして働かせれば 14, 21, 28 Mc の各バンドを 3.5 Mc で受信することができる。コンバーターの局部発振は水晶発振なので SSB の受信も安定である。使用真空管は 6BA6, 6BL8, 6BA6 である。外形寸法は横 250 \times 高さ 150 \times 奥行 200 (mm) で、重量は 4.3 kg である。現金正価は $\yen 12,200$ 。



●スイープ・ジェネレーター “RS-4”

ラジオ調整用で、マーカー周波数として 455 kc のほかにその ± 10 kc の点にもマーカーを入れたものである。普通は 455 kc 付近のスイープ・ジェネレーターでは正確なマーカーを入れるのがきわめて困難であるが、同社の特許 (この特許により科学技術庁より「発明実用化研究」の指定を受けて研究された) によって水晶発振による明確なマーカーを入れることが可能となった。発振周波数は 400 ~ 500 kc の IF バンドのほかに 550 ~ 1,600 kc の BC バンドも含んでいるのでトラッキング調整にもきわめて便利である。マーカー周波数 445 kc, 455 kc



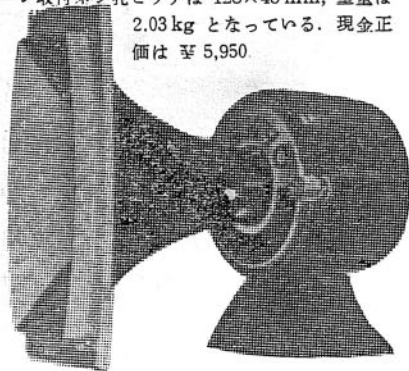


465 kc の 3 点を独立または同時に押入することができる。出力電圧は 1/1, 1/10, 1/100 の 3 ステップ減衰器および連続微細調整器によって広範囲に変化させることができる。最大出力電圧は各バンドとも 50~100 mV (r. m. s) である。外形寸法は幅 350×高さ 185×奥行 285 (mm) で、重量は 8.5 kg。
現金正価は 563,000。

(東京都大田区調布千鳥町 74 Tel. 751-7121)
トリオ K. K.

オンキョーのホーン・トウイーター “TW-6”

プロフェッショナル型として充分に通用するダイアフラム・タイプの本格的トウイーターである。振動部の質量を軽くし、磁気回路には高性能マグネット (総磁束 39,000 マックスウェル、空隙磁束密度 14,000 ガウス) を使用して駆動力を充分大きくとってあるため、出力音圧レベルが非常に高く (108 dB/W), 一般家庭はもちろん、大劇場、ホールでも偉力を発揮することができる。振動板には剛性率の高い材質のものを使い、ホーン、ホーンスロット部は肉厚ダイカスト、ボイス・コイルにはアルミ・リボン線をエッジワイズ捲きにしてスペース・ファクターをよくしてある。VC インピーダンスは 16 Ω, 最大許容入力 20 W, 再生周波数は 2,000~16,000 c/s, カットオフ周波数 1,600 c/s クロスオーバー 3,000 c/s 以上。ホーン開口部のサイズは 140×68 mm, 奥行 165.5 mm, ホーン取付ネジ孔ピッチは 128×48 mm, 重量は 2.03 kg となっている。現金正価は 5,950。



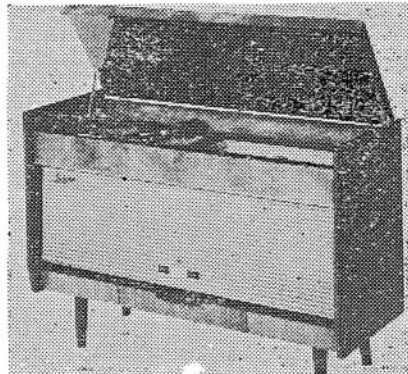
(大阪市旭区大宮西之町 5 の 32)

大阪音響 K. K.

日立シンフォニカ “1741”

本機は当社が先に発売した FM のもの中型ステレオ「シンフォニカ 1152」をさらに高級化したもので、FM のほかに連続可変型のダイナミック・レンジ・エキスパンダーや、スーパーバランス PU などを備えている。チューナー、アンプ部を合わせて 17 球, 11 ダイオードを使っている。FM の高周波増幅と周波数変換回路には日立の 6R-HH2 を使用して高感度、低雑音化をはかり、出力段は 30A5 pp の 2 チャンネルとしてある。出力は無歪で 5.5 W×2, 最大 7 W×2 である。チューナーは FM, SW (3.8~12 Mc) MW で、感度は FM, AM とともに 20 μV/50 mV。プレーヤーは特許出願中のモーションナル・バランス・プレーヤーで雑音がない。また、残響装置、ステレオ・スプレッ

ド、ラウドネス・コンベンセーターを備えていて、音の奥行き、広がり、バランスを適当にコントロールすることができる。ステレオ・バランスのインジケーターもついている。使用スピーカーは 20 cm 型が 2 個である。外形寸法は幅 1,070×高さ 820×奥行 400 (mm) で、重量は約 40 kg である。現金正価は 58,500。

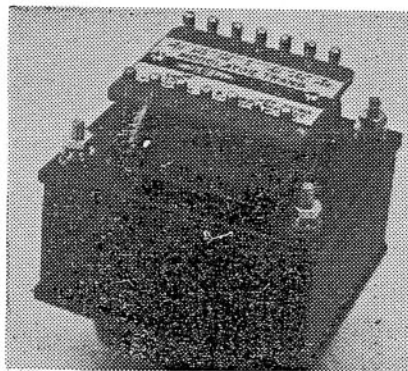


(東京都千代田区丸の内 新丸ビル内)

日立製作所 K. K.

菅野電機の変調トランス “TM-15” “TM-25”

これは従来の製品に比し特殊高性能コアの使用により、小型化に成功した新製品である。特に各真空管にマッチするよう、各種タップをそなえたユニバーサル型である。2次捲線には従来のものより 30% 以上の電流にても 2 次インダクタンスの変化のないようカソード NF (16 Ω) も追加してある。取付は伏型ベーク端子型。重量は TM-15 が 1.5 kg, TM-25 が 1.9 kg。



(東京都品川区大井寺下町 1441)

Tel. 761-9973)

K. K. 菅野電機研究所

トヨーのマジックアイ 3 種

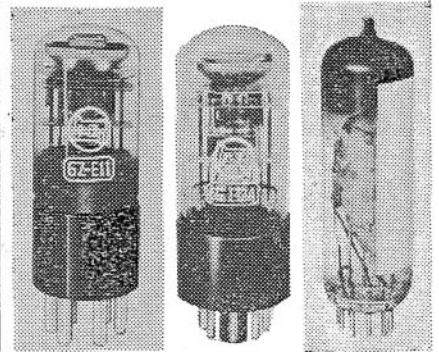
東洋無線 KK ではこのほど次の 3 種マジックアイを発売した。

(1) 6Z-E11 トランスレス回路兼用の一般向きとしたもので、規格は、 E_f : 6.3 V, I_f : 150 mA, ターゲット電圧 90~130 V, 外形寸法: 直径 30 mm, 坐高 74 mm, 角型ターゲット。

(2) 6G-E12A ステレオ放送チューニング用ならびに FM 放送用で、規格は、 E_f : 6.3

V, I_f : 0.3 A, ターゲット電圧: 250 V, 直径: 30 mm, 坐高 76 mm, 角型ターゲット, 独立作動両開き輝面。

(3) 6R-E13 テープレコーダーや受信機用として欧州型の FM-84 をモディファイしたものの。規格は、 E_f : 6.3 V, I_f : 0.2 A, ターゲット電圧: 300 V, 直径: 22.2 cm, 坐高: 72 mm. ガラス管内面に螢光膜を付着し、螢光輝面は長方形になっている。



6Z-E11

6G-E12A

6R-E13

(東京都世田谷区若林町 75)

東洋無線 K. K.

国洋の簡易 TR チェッカー “TCB-4”

トランジスターの使用現場や販売店用として操作の簡易化、小型・軽量化をはかったチェッカーで、小型ながら精密級と同じように 270 c/s における β を 500 まで測定でき、ICB は規定電圧 (VCB) で測定できるように 0~100 V まで連続可変できる内蔵電源をもっている。主な規格は β 測定範囲と誤差: 0~500 (3 レンジ) $\pm 3\% \pm 1$, 測定周波数: 270 c/s (CES 規格), I_E : 0~10 mA 2 レンズ, V_{CE} : 6 V 一定, I_{COB} : 50 μA フルスケール, V_{CB} : 0~100 V 2 レンジ (連続可変) となっている。定価は 567,000。



(東京都目黒区大岡山 2262 Tel: 717-3181)

国洋電機工業 K. K.

東京録音の超小型 テープレコーダー “DA-101”

超小型ながら 2 スピードで、テープ・カウンターもついているので、(キャプスタン交換で 9.5 cm/秒, 4.75 cm/秒) 便利である。フタをしたまま 5 型リールまでかけることができる。しかもダブル・トラックなので、4.75 cm/秒の速度で使えば最高 3 時間の録音再生が行える。電源は単二を使い、連続使用で 5 時間以上はもつ。またスイッチ切換えにより AC 100 V を使うこともできる。マイクについているスイッチで、



ストップ・スタートのリモコンができる。その他早送り装置、フット・ペダル（リモコン用）ジャックもついている。モーターはガバナークラスマイクロモーター、録音方式は交流バイアス、消去は直流消去、使用トランジスター6個で、それにバリスター、ダイオード各1個、ワウ・フラッターは0.8%以下。スピーカーは13×7cm 楕円型のを内蔵している。外形寸法は幅267×高さ70×奥行215(mm)で、重量は2.7kgである。

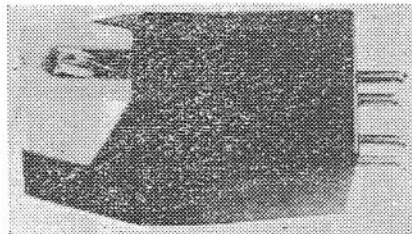


(東京都世田谷区代田2の849)

東京録音工業 K. K.

オーディオ・テクニカの カートリッジ “AT-3”

AT-3はムービング・マグネット型のカートリッジで、その特長は次のとおりである。まず、針先交換の容易さであるが、ステレオ、モノ、SPなどレコードにより替針AT3-7D、AT3-5Dをカーソルをはずさずに、また何らの器具もなしで直ちに差し換えられる。また振動系では、前に出したAT-1の0.6φのカンチレバーをさらに短かくし、マグネットを一回小さくしてムービング・マスの減少をはかったので高低域ともに再生周波数がのびている(20~21,000 c/s ±2 dB)。チャンネル・アイソレーションは30 dB (1,000 c/s)、出力5 mV (1,000 c/s)、出力バランス、インピーダンスは±1 dB、1,500 Ω (いずれも1,000 c/sにおいて)。直流抵抗は350 Ω、負荷抵抗は50~100 kΩ。針圧は3 gr、自重は9.5 grである。外形寸法は36×16.5×17 (mm)である。定価は ¥6,900。



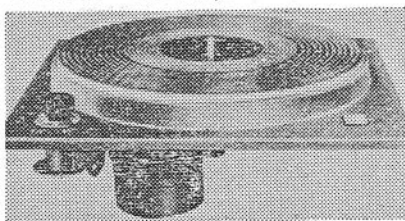
(東京都新宿区新宿1の27 Tel: 351-4795)

K. K. オーディオ・テクニカ

中央電機のターンテーブル “FR-808”

FR-808はプロ級の水準をねらった四極コンデンサー起動のシンクロナス・モーターを使用した4スピード、30センチ・ターンテーブル。同社の市販製品として従来FR-160が最高級ターンテーブルだったが、今回、同社の市販タ

ーン・テーブルでは初めてのシンクロナス・モーターを採用したFR-808を発売することになったもの。シンクロナス・モーターを採用しているから回転の安定性が高く、そのほか同ターン・テーブルは次のような特徴をもっている。①ターンテーブルは軽合金鋳物を採用、精密施盤加工により、とくにリムに重量をかけているため偏心、上下振動が少ない。②停止位置ではマイクロ・スイッチによりモーターの電源をオフとする機構を採用、③アイドラーはネオプレーンを成型後研磨で仕上げたものを使い、ワウ・フラッターの低減をはかっており、④パネルは厚さ10ミリの軽合金鋳物を使用し若干の振動はパネルで吸収する。このパネルは縮結晶焼付け塗装でオレンジ色などである。主な規格は次の通り、電力15 VA、ワウ0.2%以下、S/N -40 dB、定価 ¥19,500。



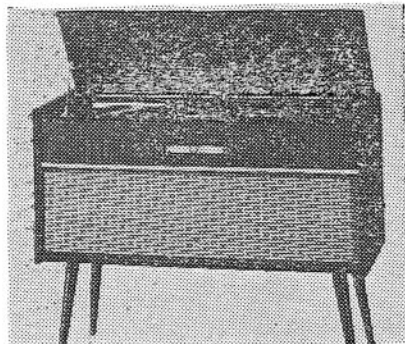
(神奈川県川崎市市の坪田向398)

中央電機 K. K.

ナショナルの新製品 9種

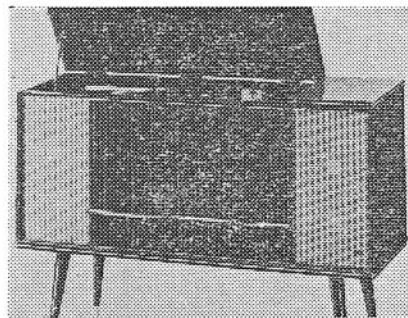
●スーパーフォニック・ステレオ “SE-1750”

セミ・オートプレーヤー（演奏が終了と自動的にピックアップが止まり、セットの電源も切れる）つきのステレオ装置で、新方式のエキスパンダー回路を内蔵している。またリバープ装置、音の広がりを調節するスプレッド装置もついている。チューナーはCh₁がMWとSW、Ch₂がMWとなっており、使用真空管は12BE5×2、12BA6×2、6AV6×2、12AX7、30MP23×2で、それにリバープ増幅として、2SB173。整流にSD-1が使われている。出力は無至2W×2、最大2.5W×2、周波数特性は60~18,000 c/s、S/N比: 55 dB。クロストーク -35 dB。残響変化範囲は0~2.5秒となっている。スピーカーは18 cmのDUコーン型が2個である。プレーヤーはハイシンクロ型4スピード、リム・ドライブ式のモーターに18 cmのターンテーブル、セラミック型ステレオ・ターンオーバーPUを使っている。針圧は7 gr。外形寸法は幅930×高さ755×奥行336(mm)で、重量は20.7 kgである。現金正価は ¥38,800。



●スーパーフォニック・ステレオ “SE-3600”

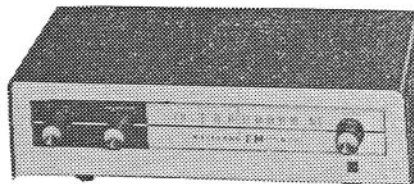
FM、エキスパンダー、リバープのすべてを備え、プレーヤーも演奏が終了と自動的にPUがもどり、電源が切れるようになっている。エキスパンダーは可変型で、これにコンプレッソ（柔和音）をプラスしたスーパー・エキスパンダー方式である。チューナーは右チャンネルがFM、SW、MWの3バンドで、左がMWだけとなっている。使用真空管は17EW8、6AV6、12BE6×2、12BA6×3、6AQ8×3、30MP24×4にゲルダイOA-79を7個にシリコン・パワーダイオードとなっている。終段は30MP23のppが2チャンネルでOTL方式をとっている。出力は最大5.0W×2、無至4.5W×2である。周波数特性は30~20,000 c/s、S/N比は55 dB。クロストーク -30 dB、残響変化範囲は0~2.5秒である。スピーカーはツイーターとして7 cm (HT-38R) が2個、ウーファーとして20 cm (8P-W3H) が2個となっているインピーダンスは800 Ω。プレーヤーはハイシンクロ型4スピードのモーター（ターンテーブルは20 cm）PUはセラミック・ターンオーバー型。針圧は6 grのものである。外形寸法は幅1,120×高さ775×奥行397 (mm)で、重量は30 kgである。現金正価は ¥71,500。



(以上) 松下電器産業ステレオ事業部

●FM チューナー “RE-510”

手持ちのラジオにこれをつなげばFM放送が楽しめるというもので、受信周波数は76~90 Mc、中間周波数は10.7 Mc。使用真空管は17EW8、12BA6×2、OA79×2。感度は10 μV/30 mV、出力は1.0 V、消費電力は15 Wである。外形寸法は幅272×高さ80×奥行149 (mm)で、重量は2 kg。現金正価は ¥6,800。

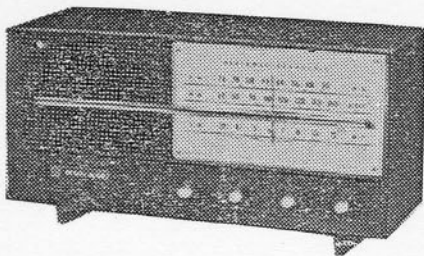


●パナソニック FM “EF-740”

FMつき6球3バンドのラジオである。FM: 76~90 Mc、SW 3.75~12 Mc、MW 535~1605 kcで、使用真空管は17EW8、12BE3、12BA6、12AV6、30A5、で、ダイオードはOA-79×2、SK-1となっている。出力は1.3 W。消費電力は24 W。スピーカーは16 cm型。録音

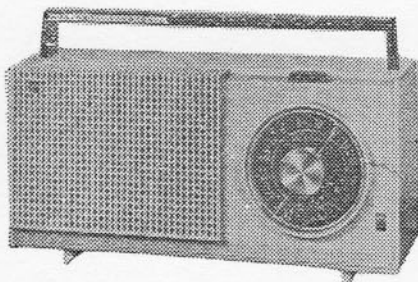


端子、プレーヤー端子もついている。外形寸法は幅 442×高さ 218×奥行 15.5 (mm) で、重量は 3.1 kg である。現金正価は ¥ 12,500。



●パナソニック “T-770”

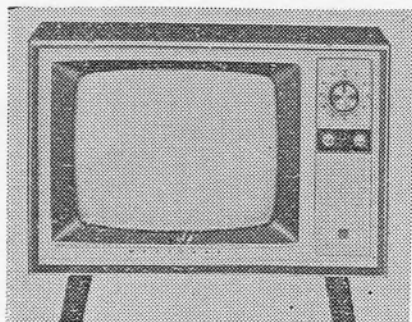
7石2バンドのハンドの小型トランジスター・ラジオである。使用トランジスターは2SA70, 2SA101×2, 2SB175, 2SB175, 2SB178×2で、終段の2SB178により、出力1,000 mWを得ている。受信周波数は535~1,605 kc, 3.9~12 Mcで、感度はMWが30 μV/m/50 mW, SWが70 μV/m/50 mW, 電池は単一×4。スピーカーは10 cmのものを使っている。外形寸法は幅302×高さ145.5×奥行100.5 (mm)で、重量は1.9 kgである。



(以上) 松下電器産業・ラジオ事業部

●16型遠距離用受像機 “F16-27X”

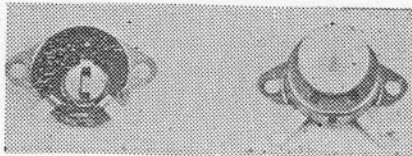
16型コーナーワイド・メタルバックのB管を使ったもので、使用真空管はB管ともで15球、その他半導体4個が使われている。入力インピーダンスは300 Ω平衡型、スピーカーは18×10 cmの楕円型、出力は最大2 Wとなっている。キャビはメタル・キャビネットである。外形寸法は幅560×高さ390×奥行320 (mm)で、重量は19.5 kgである。



(以上) 松下電器産業・テレビ事業部

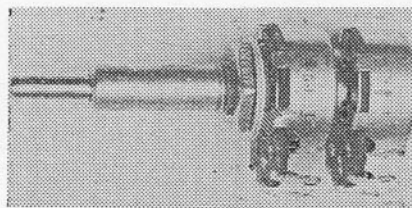
●巻線型可変抵抗器 “RA19FC”

TV受像機、通信機器および計測器用として開発されたもので、従来のプリント・タイプと違って、ネジ取付またはリベット取付型で、カバーとシールド片とが短絡された半固定型の可変抵抗器である。抵抗値範囲は3 Ω~3 kΩ, 周囲温度40°C以下において抵抗体全域(端子1と3の間)に連続負荷することのできる電力の最大値は1 W(希望により1.5 Wまで可能)となっている。



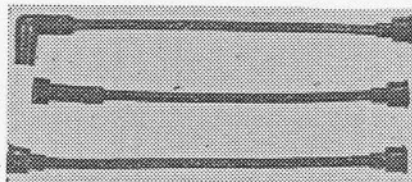
●16型2重可変抵抗器

従来のものをぐっと小型化(直径16.2 mm)したもので、トランジスター回路などでセットの小型化に充分応じられるものである。製造可能抵抗値は2 kΩ~1 MΩで、定格電力は抵抗値変化特性Bのものは0.1 W, A, C, Dのものは0.05 Wである。



●自動車用雑音防止高圧電線

エンジン動作中でラジオをきくと往々にして雑音が入ることがある。これを防止するためにイグニッション・コイルとディストリビューターとスパーク・プラグ間の高圧電線に雑音防止器をつける方法があるが、本器は、この雑音防止器と高圧電線を一体化したもので、コードの末端処理に新方式を用い、耐振性、長寿命に十分留意されている。



(大阪府北河内郡門真町)

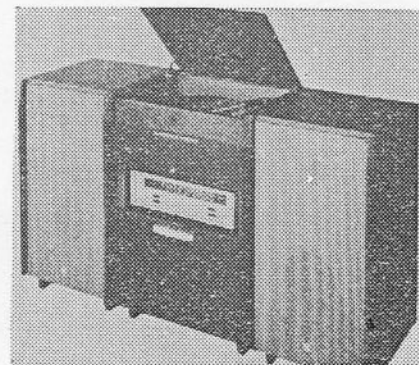
(以上) 松下電器産業・部品事業部

山水の新製品2種

●コンパクト・ステレオ “APS-15”

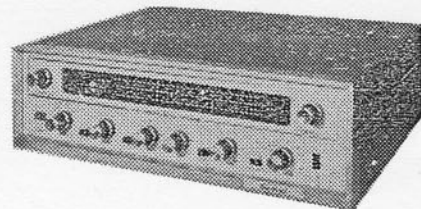
FM: 80~108 Mc, SW: 3.5~10 Mc, MW: 535~1605 kc の3バンド・チューナー

のついたステレオ・アンプで、リバーブ・ユニットもついている。使用真空管は12球+6石で、トーン・コントロール(CR型)、ラウドネスコントロール、ホィッスル・フィルター回路もついている。周波数特性は40~40,000 c/s, 出力インピーダンスは8, 16 Ω, 入力端子はX-tal, AUXである。出力段は6GW8×2で3.5 W×2 またマルチプレックス・アダプター端子、テープレコーダー用端子もでている。スピーカーは20 cm ウーファーとホーン型ツイーターが各2個使っている。許容入力10 W 入力インピーダンスは8 W, クロスオーバーは3,500 c/s. 再生周波数は50~15,000 c/s. プレーヤーは4スピード・リム・ドライブのモーター、ターンテーブルは25cm (1kg), PUはセラミック・ターンオーバー方式、出力電圧はST-LPが0.3 V, SPが2.5 V. 針圧7 grとなっている。外形寸法は幅1,330×高さ765×奥行400 (mm)で、重量は62.2 kgである。小売価格は ¥ 81,000。



●Hi-Fi トライアンプ “SM-33”

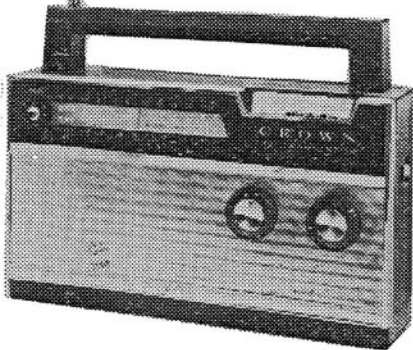
FMつき3バンドで、終段に6BM8 ppを使って16 W+16 Wの大出力が取り出せるものである。電源回路はシリコン・ダイオードによる倍電圧整流でレギュレーションも非常によい。また、トーン・コントロール、ラウドネス・コントロール、スクラッチ・フィルターもつき、なおFM受信のためのAFC回路、録音・再生が同時に行えるテープ・モニター回路なども入っている。使用真空管および半導体は6AQ8×4, 6BE6×2, 6BA6×4, 6BM8×4, 6GE12A, 2SB-51×4, 0A-79×4, SE-0.5Aで、それにセレン整流器がついている。Ch₁はFM, SW, MWで、Ch₂はMWである。メインアンプは最大出力16 W×2, 周波数特性は20 c/s~80 kc (2 dB以内), 歪率は1%以下(出力13 Wにて)出力インピーダンスは8, 16, 32 Ω (各2組)。プリアンプ部は入力PHONO (Mag, X-tal), TAPE-MON-OUT (Aux)で、S/N比は55 dB以上(TAPE端子にて)、トーン・コントロールはCR型、イコライザーはNF型となっている。外形寸法は幅436×高さ147×奥行343 (mm)で、重量は13.3 kgである。現金正価は ¥ 37,600。



(東京都杉並区和泉町 460 Tel. 328-0111)
山水電気 K. K.

クラウンの4バンド TR ラジオ "TR-124"

12個のトランジスターを使って4バンドのポータブル・ラジオである。4バンドとは MW: 535~1,605 kc, SW₁: 1.6~4.5 Mc, SW₂: 4.5~12 Mc, SW₃: 10~24 Mc の受信帯である。この受信帯は押ボタンによって切替えられる。出力は無歪で 200 mW, 最大 300 mW。スピーカーは 8.9



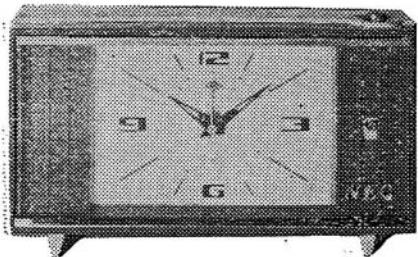
cm と 5.2cm の 2個が使われている。また、トーン・スイッチ、フライン・チューニング機構もついている。外形寸法は 145×245×68 (mm) で、重量は電池ともで 2.2kg である。電源は 9V で単二を 6個使ったものである。なお AC アダプターも使用できるようにしている。現金正価は ¥18,500。

(東京都台東区東黒門町 3 Tel: 832-6271)
クラウン K. K.

NEC の新製品 2種

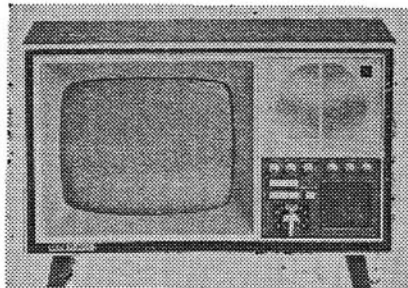
●電子ライトつきホーム・タイマー "TK-63EL"

NEC 独特の電子ライト (エレクトロ・ルミネッセンス) を文字板に使ったタイマーである。柔らかい緑の光で、夜中でも時間がすぐわかり常夜灯としても使える。エレクトロ・ルミネッセンスの大きな特長は、平板光源ということだけでなく、消費電力がきわめてわずかで発熱もしないことで、このタイマーを 1年間連続して使っても電気代はわずかに 20円ぐらいである。時計は中三針の 12 時間表示のもので、タイマー・スイッチとしても働らく、またタイマーのセット解除ボタンもついている。外形寸法は幅 180×高さ 89.3×奥行 56.5 (mm) で、重量は 640 gr である。正価は ¥2,280。



●16型遠距離用受像機、インスタントビジョン "16-K7"

スイッチを入れるとたとに画と音が出てくるという瞬間受像方式のものである。これは真空管のヒーターに常にわずかの電流を流してあたたためてあるからで、なおよいことには、普通の受像機でスイッチ投入時にラッシュカレントが流れてヒーター断線などを起すことがあるが、その心配は全くなくかえって真空管の寿命が長もちすることである。しかし長時間使わないときにはメイン・スイッチを切っておく、AFT 装置もついでおり、音質は 3段階に押ボタンにより切替えることができる。スピーカーは 16cm 丸型と 7cm 丸型が各 1個ついている。使用真空管およびダイオードは 16 球 (B 管とも)、9 石である。音声出力は 2W。消費電力は 140W となっている。外形寸法は幅 674×高さ 389×奥行 270 (mm) である。現金正価は ¥59,000。



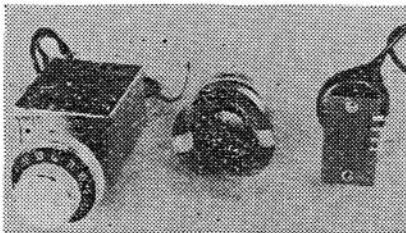
(東京都港区芝三田)

日本電気 K. K.

QQQ の TR テレビ用パーツ 3種

まずトランジスター・チューナー (TR-14Q シリーズ) であるが、トランジスターのもつ混交調特性、AGC 特性などの難点を克服した。14 分割の軸対称接点型ディスク・ターレット方式により超小型化されている。真空管式チューナーに何らの遜色はなく、UHF とラジエーション対策も解決し、AFT 回路やリモコンの可能性を考慮し、またあらゆる方式の AGC 回路に適用できるものである。種類としては日本のチャンネル、CCIR、米国用があり、電源接地方式により A~F までの 6 種類がある。

その他、特注品として、試験用万能 TR ソケット付 (トランジスター・テスト用) 電界強度測定器用もできる。

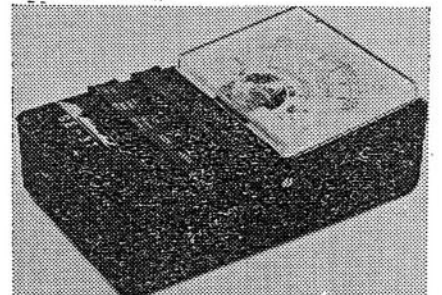


(東京都大田区大森 2 の 181 Tel: 761-0039)
中央無線 K. K.

日置のテスター "SE-37 A~B"

SE-37A と SE-37B の 2種類があり、この

種のテスターとしては珍しい押ボタン操作のもので、従来の切換スイッチに比較して非常に使いやすくなっている。テスター使用後や持ち運びの際に OFF のボタンを押しておけばメーターが短絡して制動作用がはたらきメーターを保護するようになっている。A 型は DC 2.5V レンジ、B 型は DC 1V レンジを採用している。トランジスター回路の測定に便利である。電池は簡単に取り出し、交換できるように電池ホルダーがついている。その他、1 レンジの焼損が起きても他のレンジには影響のないようになっている。SE-37A の主な規格を列記すると、メーター感度は 100μA。直流電圧範囲: 0~2.5V (10kΩ/V), 10, 50, 250, 500, 1000V (4kΩ/V), 交流電圧: 0~10, 50, 250, 500, 1000V (4kΩ/V), 直流電流: 0~100μA, 100mA, 50mA, 抵抗: 0~20kΩ, 200kΩ, 2MΩ。自己誘導 10~2000H, 静電容量: 250pF~0.02μF, dB: -20~+20dB, +20~+36dB, LI: 2mA, 20mA, 200mA。内蔵電池は 1.5V (単三 2 個) である。



(長野県埴科郡坂城町立町)

日置電機 K. K.

難物テレビ・サービスのつづき

逆に、ラスター全体の下から、約 1/3 位のところの走査線がときどき数本抜けて消え去る症状のときには垂直出力管のカソード回路、プレート回路のどこかで接触不良があるときに起るのです。

[第 8 図]

